



ESDエイジーズ
 [SDGs Sustainable Development Goals] 世界共通の言葉として、2015年9月の国連サミットで加盟国の前回一致で採択された持続可能な開発目標。思想や文化、人種や国を超えて、よりよい未来にしたいための17の目標です。企業や個人、大人や子どもなど、年齢や立場によってできる行動はそれぞれです。まずは、自分ならどうするか。それを一人ひとり考えていきましょう。ここでは、創心會グループのSDGsを体現している人を紹介します。よりよい未来へのつながり、可能性を感じてください。

File no.



@SOUSHINKAI

SDGs 人

3
6
12
14

健康づくりに水は欠かせない

朝起きて始めにすることは、水を飲むこと。健康によいので毎日1リットルの水を持ち歩き、小まめに飲んでいきます。飲み始めてから、それまでよりも体調がよくまりました。いつでも安全でおいしい水が飲める日本の環境を未来にもぜひ残したい。安易

にペットボトル飲料を購入しないことで、プラスチックごみを増やさない。使ったプラスチックは再生できるよう洗って資源ゴミに出す。人にとって水がいかに大切かというのを伝えていきたいです。



▼ Moriya Kayoko

8

積極的に働き、充実していきたい

私は子どもの成長や将来に向けて、介護福祉士を取得し正社員雇用を目指しました。

創心會では与えられた環境の中、全力で取り組んでいたら、段々と自分に向いている仕事が見つかってきました。この事業のオープニングスタッフとして声をかけられたときに、私

の職業経験をすべて生かせるピッタリの職種でも嬉しかったです。大好きな「食」に関わる仕事で、以前よりも積極的に働けている変化を感じました。年を重ねてきましたが、毎日元気に働けることに感謝しています。

2
12

いつでも安全で栄養のある食事を

祖父母が農家で「食べたい物は作る」が当然の考えで育ちました。人間の体は食べた物でできている。家庭料理は手料理にこだわり、介護職としてご利用者様と行う調理活動には特に情熱を注いでいます。家政を学び、家庭をもち、介護職として「食」は私の人生に欠かせないキーワードです。

File no.01

守屋 佳代子 (もりや かよこ)

介護福祉士
 コミュニティベース & 模擬的就労スペース Chaya-Cafe 勤務

1983年就実短期大学家政科を卒業後、銀行に入学。結婚、出産を経て、2004年に介護福祉士を取得。2009年創心會に入社、デイサービスに配属。2015年株式会社おかやま工房のリエゾンプロジェクトでパン製造技術を習得、Chaya-Cafeスタッフとして開設に携わる。現在は事業運営の他、後輩や模擬就労者への指導を行う。

2
3
10
11
12

地域の人を結ぶコミュニティとして生活や価値観を変えるきっかけの場に

チャヤカフェには地域の幅広い世代の方が訪れます。焼きたてパンを購入されながら、「ここは介護施設なの？」「お年寄りが生き生きとしている」といった感想を何度もいただきました。そういったお声を聞くうちに、ここは地域交流や情報発信の場なのだと思えるようになりました。

模擬就労に参加されている方から驚かされることもあります。障害があるにも関わらず、自家用車で通勤される方。就労で習得した菓子作りを自宅でも実践して、できることをどんどん増やしていく方。ここでの作業を通じて、普段通うデイサービスでのリハビリをより実践的な内容に考えるようになった方。共にはたらく仲間「ア」と楽しみを見つけた方。就職ができた方。普段の生活だけでは起こりえないようなすてきな変化がいくつも起きています。

いつでも生活や価値観を広げる機会を創造できる場所を守りたい

これから、私はこの場所を持続させていくことで地域に貢献したい。そして介護のイメージを変えるために、より地域に「魅せる・見られる・寄られる」場所にしたと考えています。地域のコミュニティとして、すてきな変化と共に、リハビリの先にあることやチャヤカフェの魅力伝える役割を担っていきたくです。



やっぱり人が好き。いろんな人の笑顔を見ることができるのが何よりの喜びなんです。



介護福祉士なのにパン屋さん。こんな働き方ができるって驚きです。人生わからないものですね。

チャヤカフェ

コミュニティベース & 模擬的就労スペース **Chaya-Cafe**

店内に入ると、焼きたてパンの良い香りと笑顔のスタッフが温かく迎えます。また、ここはコミュニティベースとして地域の方々にもご利用いただけます。ご利用者様の就労支援もしており、常に笑顔が溢れるパン屋として様々な人が訪れます。

■場所 / 創心會リハケアタウン東館(1階) 〒710-1101 倉敷市茶屋町2104-1
 ■電話 / 086-420-1500
 ■営業 / 11:30~17:00 ■休み / 土・日曜日
 ■年末年始 / 2021年12月30日~2022年1月5日





ESD | Sustainable Development Goals | 世界共通の合言葉として、2015年9月の国連サミットで加盟国の前回一致で採択された持続可能な開発目標。思想や文化、人種や国を超えて、よりよい未来にしたいための17の目標です。企業や個人、大人や子どもなど、年齢や立場によってできる行動はそれぞれです。まずは、自分ならどうするか。それを一人ひとり考えていきましょう。ここでは、創心会グループのSDGsを体現している人を紹介します。よりよい未来へのつながり、可能性を感じてください。

File no.



@SOUSHINKAI

SDGs かな人

2
3
12

健康に向き合い、見えたこと・考えたこと

3年前に体調を崩し、食事に気を遣うようになりました。毎日麦茶を1ℓ以上飲むようにしたり、加工品を買う時も栄養や成分表示を意識するようにになりました。子どもたちの成長を考え、少しでも栄養バランスを考えた食事と意識しています。

また、一日1万歩が目標の散歩や、週末のランニングで、すっかり体調も良好です。ランニング用の靴は、デザイン性よりも、着心地と機能性を重視。自分の足に合った、少し良いものを選ぶようにしています。

11
13

自分に「できる」エコ活動を

自然災害の報道を見聞きすると、温暖化による気候変動が心配です。大きなことはできませんが、事業所近くの担当者会議には自転車で行っています。CO₂も出さず、景色も楽しめ、風も心地よい。地域の方からもよく声をかけてくださるのも嬉しいですね。これからも自分ができるエコ活動を続けていきたいです。



▲ Yamanoto Mitsunori

5
8
10

好きなことが、自分や周りを幸せに

出勤前のルーティンは、猫の餌やり、洗濯干し、お弁当と朝食準備、ゴミ出しなど。自分が好きでやれることを率先してやっています。料理はグループホームでもしてきましたし、洗濯干しやお茶を沸かすのは、デイサービスの業務とまったく同じ作業

なんです。だから、家庭と仕事のスキルはどこかで共通しているなど感じています。自分が健康で好きなことや仕事ができ、困ったときには支えてくれる家族や仲間が存在があることに幸せを感じています。

File no. 02

山本 光紀 (やまもと みつのり)

創心会五感リハビリ倶楽部 岡南 勤務
介護福祉士、認知症対応型サービス事業管理者研修 修了
認知症ケア専門士、認知症介護実践リーダー研修 修了

1997年国立富山大学経済学部経済学科卒業後、アパレルに勤務。祖母の認知症や入院を機に、「自分にも何かできることはないか」と考え、福祉の仕事に転職。2004年創心会に入社、グループホームに配属。2008年に介護福祉士を取得し、グループホームの管理者、部門長を経て、2015年認知症対応型デイサービス「五感リハビリ倶楽部 岡南」の管理者として異動。現在は品質管理部門の一員として事業運営の他、教育や指導にも従事。

ESD

Sustainable Development Goals

1
2
3
10
11
12

互いを必要と感じ合える場所、心も生活も癒せる場所を作りたい

地域密着型サービスの五感リハビリ倶楽部岡南では、ご利用者様だけでなく、共に生活するご家族や地域の方も気軽に相談できる関係を目指しています。ゆくゆくはコミュニティ・カフェを併設し、地域の方が気軽に立ち寄ってコーヒーが飲めるなど、誰もが居心地よい場所をつくりたいと思います。そのためには、日頃から地域の方との関係づくりは欠かせません。町内行事である清掃や運動会などには積極的に参加し、助け合いたいと思います。また、近隣の保育園と定期的な交流会を行っています。コロナ禍ではオンラインでの交流に取り組んでいます。一日も早く以前のように相互に行き来できる交流を取り戻したいです。



保育園の園児らとのリモート交流も慣れてきましたが、やっぱり対面交流の再開が待ち遠しいですね。



運営推進会議では、ご家族様や地域住民の代表者、市町村職員の方が参加してくださっています。



認知症対応型 デイサービス 五感リハビリ倶楽部® 岡南

岡山の風土になじむ焼板に囲まれた門扉をくぐると、庭を金魚池や菜園が彩り、和の風情に癒されます。室内に入ると茶香炉の香りと笑顔のスタッフがお出迎え。五感を活性するリハビリや生活の訓練を行い、寛ぎの時間には畳の上でひと息。地域の人々が馴染める居場所を目指しています。

- 場所 / 〒702-8025 岡山市南区浦安西町13-2
- 電話 / 086-261-5600 ■ FAX / 086-261-5611
- 営業 / 8:30 ~ 17:30 [サービス提供時間 / 09:30 ~ 16:40]
- 休み / 日曜日、年末年始(12月31日 ~ 1月3日)

@SOUSHINKAI SDGs かな人



ESDジェイジズ
【SDGs Sustainable Development Goals】世界共通の言葉として、2015年9月の国連サミットで加盟国の前一致で採択された持続可能な開発目標。思想や文化、人種や国を超えて、よりよい未来にしていくなための17の目標です。企業や個人、大人や子どもなど、年齢や立場によってできる行動はそれぞれです。まずは、自分ならどうするか。それを一人ひとり考えていきましょう。ここでは、創心グループのSDGsを体現している人を紹介します。よりよい未来へのつながり、可能性を感じてください。

2
6
12

できることから、少しずつでも始めたい

料理をする時はお味噌汁を作るのですが、廃棄しないように冷蔵庫内の余り食材を活用するように意識しています。他にも、勉強や仕事の際にはチョコレートをよく買うのですが、力カオの原産国の労働環境のことを考えると、まずは廃棄を減らすこと人として、まずは廃棄を減らすことを意識しています。

また自宅の水道トラブルで、1週間も水が使えない不自由さを経験しました。食事やトイレ、入浴等々、災害で避難生活をするときに一番必要なのは水だと思いました。水や電気など、限りある資源を無駄にしないように心がけ、それを支えるための公共料金は適切に負担し合うことが大切だと思いました。

15

共存・共生できる社会に

私は猫を飼っています。人も猫も自然体で、お互いの存在を受け入れて共生している様子は心地よいなあと感じます。以前、ペットショップで買うのではなく、家族と相談して動物愛護センターに保護されていた猫を譲り受けました。この猫の存在が障害のある弟にも良い役割となっていて、家族皆の癒しです。人と人だけでなく、人も動物も共存できる社会環境であってほしいと思います。



3
17

自分を律して、人の生活を支える

管理者や生活相談員の仕事をする上で大切にしている協調性は、学生時代に吹奏楽部で培いました。ご利用者様に接する際も、自らが率先して元気に振る舞うことで、少しでも明るい気持ちになっていただけたらと思います。常にエネルギーッシュであるためにも朝御飯を食べる習慣は続いています。また管理者になりた

ての頃、書類業務に追われ、困っていた際に周囲の方から「大丈夫？」と気遣い、支えていただいたことが大変有難かったです。介護は人の悩みや生きづらさに寄り添う仕事。悩みを抱え込まず、頼れる仲間をつくって心に余裕をつくることも、今は大事にしています。

▲ Higashitani Chie

File no. 03

東谷 知恵 (ひがしたに ちえ)
創心会リハビリ倶楽部 勤務
精神保健福祉士、社会福祉士
生活力デザイナー3級プロフェッショナル 取得

2012年県立広島大学保健福祉学部保健福祉学科を卒業。就職は経済と福祉の両立を目指して活動できる営利法人を志望。2012年創心会に入社、デイサービス創心会リハビリ倶楽部新瀬に配属。2013年創心会リハビリ倶楽部笠岡に異動。生活相談員、フロアリーダー職、笠岡市の通所サービス事業所連絡会の役員を経て、現在は管理者として事業運営の他、社内の委員会にも従事。

4
8
10
11
17

誰もが可能性を抱ける未来へ

リハビリ倶楽部笠岡では、「自分自身のできることに気付ける」「自信が持てる」「可能性を抱ける」「自分らしさが出せる」をミッション・ステートメントとして、ご利用者様とスタッフが互いに成長しあえる場所を目指しています。また、グループ会社の「ど根性ファーム」「リンクスライヴ」との就労支援事業と連携した共生型のサービスを視野に入れた新たな事業構想も今後は益々重要になると考えています。障害者自立支援制度と介護保険制度の利用者が、その生活目標に応じて相互にサービスを活用できることを当然と思える仕組みを創れたらと思います。そのためには、サービス提供内容の改善、今以上に個性を備えた自立支援が適切に提供できる環境づくりが必要であり、そのための経営基盤も強靱であるために、やるべきことは多数あると思っています。

地域の中で、私たちに何ができるのか

また、当施設は地域の交流拠点や居場所となる場所を目指しています。子どもの個食・孤食対策と高齢者の役割創出にと4年前から始めた「おかえり食堂」は、通算25回以上開催。参加者も徐々に増えてきた矢先、新型コロナウイルスの流行で現在は中止を余儀なくされています。現在は、その新型コロナウイルス感染拡大による社会不況の影響を受け、金銭的な不安を抱えている学生に食料品や日用品を寄贈する支援として「食の支援事業(主催：笠岡市社会福祉協議会)」に昨年から参画しています。これからも地域社会の課題に対して、私たちに何ができるかを考え取り組みたいです。



おかえり食堂は、ご利用者様の社会参加、地域住民間の距離を近づける絶好の機会



寄贈品には、当事業所の栄養士らが献立レシピや励ましのメッセージカードを同封しました。皆で助け合い元気づけたいです



活動・参加型 デイサービス **リハビリ倶楽部® 笠岡**

笠岡湾を臨む白亜の建物。デイサービスの他にも居宅介護支援、訪問看護ステーションが併設された複合施設です。施設内は、手すりや通路幅を最小限にし、在宅環境で自立する力を引き出す仕掛けがあり、専門職による個別機能訓練や助言を行います。近くにはグループ法人の園場や青果加工場の他、就労支援事業所があり、社会参加や生きがいの支援をします。

- 場所 / 〒714-0055 笠岡市生江浜826番地
- 電話 / 0865-66-2101 ■FAX / 0865-66-2131
- 営業 / 8:30 ~ 17:30 [サービス提供時間 / 09:30 ~ 16:40]
- 休み / 日曜日、年末年始(12月31日~1月3日)



ESD | Sustainable Development Goals
 【SDGs | Sustainable Development Goals】世界共通の合言葉として、2015年9月の国連サミットで加盟国の前回一致で採択された持続可能な開発目標。思想や文化、人種や国を超えて、よりよい未来にしたいための17の目標です。企業や個人、大人や子どもなど、年齢や立場によってできる行動はそれぞれです。まずは、自分ならどうするか。それを一人ひとりが考えていきましょう。ここでは、創心会グループのSDGsを体現している人を紹介します。よりよい未来へのつながり、可能性を感じてください。

File no. **04**

@SOUSHINKAI

SDGs 人

2
6
7
12

「ちよつどよい」を意識する生活で、賢い消費者になる

30代から自身の健康に食事面からも気を遣うようになりました。いつも美味しさを感ぜられるように、しっかりとお腹を空かせてから、食べるようにしています。栄養面から旬の野菜や魚を摂り、特に父の育てた野菜を好んで食べています。そして、何事も「適当」がいいと思っています。

います。水道、電気、ガスなども、ちよつどよい、量だけ使うようにして、無駄がないように、使いすぎないことを意識しています。消費者としてのそついった心掛けが、自分だけではなく、誰かの豊かさや恵みに繋がっていくのではないかと思います。



▲ Takahara Yasunori

8 9 何にでも興味をもち、仕事を楽しみたい

リハビリ支援が思い通りに実現したときや、いい仕事ができたと考えた後に、好きなことで息を抜く時間がとても幸せです。気に入っている小説や漫画を買ったり、アニメを観たり、ゲームをして楽しみます。これは子どもとの話題や遊びのツールにもなりますが、幅広い層の方

のコミュニケーションのきっかけにも役立つと考えています。わくわくの気持ちを常に忘れず、何でも興味を持って良いカルチャーを取り入れながら、今までにないアイデアや意外性を生み出して仕事を楽しみたいです。

3
11

多様性に向き合う

私たちがご利用者様、ご依頼者様には、様々な背景を抱えている方がいます。医療職として、一人ひとりの人生観に寄り添いながら、多様性を認めて共生する提案を心掛けています。作業療法士として働き続ける上では、固定観念や先入観に捉われず、自らを変化させ続けることです。特にお子様へのケアや思春期の方には、そついつ柔軟性を大切にしています。

File no. 04

高原 康徳 (たかはら やすのり)
 創心会訪問看護リハビリステーション 勤務
 作業療法士

2002年岡山医療技術専門学校 作業療法学科を卒業後、病院にて6年間勤務。より地域に関われる支援、特に小児訪問のできる環境を求め転職。2013年創心会に入社、訪問看護リハビリステーションに配属。品質管理部門の一員として事業運営の他、傍ら育や指導も積極的に行う。2017年に一般社団法人岡山県作業療法士会 子ども地域支援委員会に所属し、学童保育等への作業療法士コンサルテーションに携わる。

ESD | Sustainable Development Goals

1
3
4
8
10
16
17

未来を担う子どもたちに 作業療法を役立てたい

創心会訪問看護リハビリステーションでは、経験豊富な看護師やリハビリ専門職が、乳幼児から高齢者まで幅広い方を支援しています。私は主に小児リハビリを担当していますが、作業療法士の専門分野の一つである発達支援や環境調整などの力を、学校や特別支援学校の教育活動の支援に役立てられたいかと考えています。社外活動では、岡山県作業療法士会と岡山県学童保育連絡協議会が共同で行った「放課後児童クラブにおける作業療法士のコンサルテーションの効果研究」に私も委員として携わってきました。未来を担う子どもの健全な育成を支援することに責任とやりがいを感じています。

皆が安心できる平和社会に向けて

今後は、教職員や児童指導員の課題により積極的に応えできるように、小児リハビリに携わる後輩社員たちの育成や、医師や看護師、ソーシャルワーカー等と共に多職種連携の輪を広げています。志あるスタッフたちが理想に燃え、心地よい居場所と思えるステーションを築くことが私の目標です。また戦争体験者が減少する中、私に体験を語ってくださった方々の尊い思いを次世代に語り継いでいくことも、平和な社会で暮らす私たちの責任なのではないかと思っています。社会保障も未来に大きな負担を残さないよう、皆が安心できる平和社会に向けて、これからも自らの学びや経験を繋げていきます。



ご自宅のリラックスした状態で、動作支援や遊びを通じた発達の促進などを行います。



社内ではご利用者様や地域の情報を共有し、問題解決に向け対策を練ります。



若者を育て、教育活動の支援に関わるリハビリ専門職の未来を開き、地域に貢献します。コンサル事例は書籍化され、子どもの支援に携わる人々に読まれています。



創心会訪問看護リハビリステーション (看護部門・リハビリ部門)

私たちの職場はご利用者様が暮らす地域です。ステーションには、看護師や療法士が在席しており、より身近な存在として、ステーションは倉敷市の他、岡山市、笠岡市、福山市、高松市にも開設。看護やリハビリで心豊かな生活を創造することが、私たちの使命です。

- 場所 / 〒710-1101 倉敷市茶屋町2104-1
- 電話 / 086-420-1500 ■FAX / 086-428-0946
- 営業 / 8:30 ~ 17:30 (夜間オンコール対応あり)
- 休み / 日曜日、12月31日 ~ 1月3日 (但し、疾患の状況に応じて対応可)



ESDエイジーズ
 [SDGs Sustainable Development Goals] 世界共通の言葉として、2015年9月の国連サミットで加盟国の前回一致で採択された持続可能な開発目標。思想や文化、人種や国を超えて、よりよい未来にしたいための17の目標です。企業や個人、大人や子どもなど、年齢や立場によってできる行動はそれぞれです。まずは、自分ならどうするか。それを一人ひとり考えていきましょう。ここでは、創心会グループのSDGsを体現している人を紹介します。よりよい未来へのつながり、可能性を感じてください。

File no. **05**

@SOUSHINKAI

SDGs 人

9
12

地産地消から、豊かな暮らしの持続へ

最寄りのスーパーに行けば、まずは地元で採れた生鮮食品が目向きです。鮮度や品質の良さが紹介されていて、納得して購入できる安心感があります。ど根性ファームの干切

3 15 共存し合える快適な関係を支えたい

私は植物を眺めると癒しになります。家庭や職場、まちづくりなど様々なシーンで緑視率が向上し、みんなの健康やリラクゼーションに繋がればと考えています。私の思いに賛同してくださる有志者の方々と一緒に、会社の敷地内の草刈をし、花やフローバーを植える環境整備をしています。また植物を育てる過程をご利用者様



▲Mikami Miyuki

11
13

地域社会と協調し、減災・防災の第一歩を

私の住む地域は水路が近く、4年前の豪雨災害では身の危険を痛感しました。それ以来、家には防災バッグをいつでも手に取れるところに設置したり、地震や水害など災害時の損害を抑えることへの関心も高まりました。備えあれば憂いなしというように、エコや備蓄はもちろん日頃から地域社会との協調を大切にしたいと思っています。

File no. **05**

三上 美幸 (みかみ みゆき)
 介護支援専門員(ケアマネジャー)
 創心会居宅介護支援センター倉敷 勤務

1990年倉敷翠松高校を卒業後、就職。友人に紹介され、1996年介護サービス会社に転職。通所介護や訪問介護を経験した後、キャリアアップのため2003年株式会社創心会に入社。2004年介護支援専門員に合格。医療を知るため、2007年急性期病院の介護助手に転職。約5年間の病棟経験を経て、2013年創心会に復職。創心会居宅介護支援センターに配属。生まれ育った倉敷で二人の子を育てながら、地域交流にも視野を広げる。

1
3
8
11
17

心から寄り添える、地域に開かれた場所を目指して

私が勤務する創心会居宅介護支援センター倉敷では、地域の方が気軽に相談できるような開かれた事業所を目指しています。通常のケアマネジメントに加えて、地域交流の場には積極的に参加し、地域の方と接する機会を大切にしています。相談者の方に来所いただくのが当たり前ではなく、私たちはいつでも出向いていく姿勢であることをお伝えしたいです。困ったから関係が始まるのではなく、日頃から顔の見える関係性をつくりながら、住みよいまちづくりに向けたパートナーシップを築き、地域共生社会の実現に貢献することを目指しています。

持続可能な社会に繋がる経験を蓄える

働きやすい職場や環境心理的な安全・安心が確保されていると、人は主体性や自律も高まると学びました。介護支援専門員はご利用者様の支援に直接関わる時間が多くない分、他事業所と連携することは私たちの大変重要な業務です。ご家族や連携する事業所の皆様の力を引き出せるように援助するために、訪問やお電話の際には、その方の心理的負担を軽減できるようなコミュニケーションを心掛けています。そういった取り組みや経験をストックし、共有し合うことで、また次の誰かの何かの解決の種になればと考えています。それらが少しでも次世代に活かされるよう日々蓄え育んでいきたいです。



身近な環境から変えることで、人々の心や習慣にも変化があるのではないかと考えています



相談者の心に耳を傾け、支援者と共に希望あるケアプランを目指します



創心会居宅介護支援センター 倉敷

私たちは介護保険の相談窓口として、まずは「きちんと話を聴くこと」、「実現できる範囲や可能性を示すこと」、「より良い選択ができるように丁寧に説明すること」を心掛け、地域の皆様に寄り添います。介護保険や福祉制度の手続き代行はもちろん、社会参加のための最初の杖だと思ってください。

- 場所 / 〒710-1101 倉敷市茶屋町2104-1
- 電話 / 086-420-1500 ■FAX / 086-428-0946
- 営業 / 8:30 ~ 17:30
- 休み / 土曜日午後、日曜日、年末年始(12月31日~1月3日)



ESDエイジーズ
 [SDGs Sustainable Development Goals] 世界共通の合言葉として、2015年9月の国連サミットで加盟国の前回一致で採択された持続可能な開発目標。思想や文化、人種や国を超えて、よりよい未来にしていこうための17の目標です。企業や個人、大人や子どもなど、年齢や立場によってできる行動はそれぞれです。まずは、自分ならどうするか。それを一人ひとり考えていきましょう。ここでは、創心會グループのSDGsを体現している人を紹介します。よりよい未来へのつながり、可能性を感じてください。

File no. **06**

@SOUSHINKAI

SDGs 人

1 3 10 11 16

日本の優れた良識は豊かさの二つ

福祉とは「幸せ」や「豊かさ」という意味があり、少子高齢社会の日本は高負担、低福祉の政策になったという声があります。確かに社会保障の負担は軽くはないかもしれませ

ん。しかし一方で、出身や民族、宗教や性別の違いで差別・迫害や紛争などが起きる国と比べれば、そういう不安が少ない日本は「豊か」なかもしれないし、それを保とうとする国民の優れた良識も豊かさの尺度の一つではないかと思えます。



▲ Miyachi Akira

2 4 12

いつも食事があがる有難さを子どもたちへ伝える

少し古い価値観かもしれませんが、食べ物好き嫌いがあっても全ていただくこと。家でも子どもたちに「食べられることは当たり前ではないし、料理を作るのも簡単ではないんだよ。」と伝えて、いつも感謝の気持ちを忘れません。また、食べている物が、いつ、どのように採れるのかを家庭菜園を通して一緒に考え、食への興味・関心が高まるように工夫しています。

再利用ができる生産と消費の仕組みを想う

7 12 14 15

東日本大震災発生後の電力問題から、自宅に太陽光発電を設置しましたが、太陽光パネルがリサイクルをする事ができず、埋め立てゴミになっているという話を聞き、再利用できる仕組みをまず作ってから、普及させるべきと強く思いました。近年ではコロナの影響で、不織布マスクが道端に落ちていくが増えています。これは土にかえらないものなので、私も自然環境の維持に無責任にならないよう、そういったものを拾ったり、自分も落としてしまわないように気を付けています。

3 4 8 10 11 16

困っている人に手が差し伸べられる専門性を持つ

支援本部 内部監査室は、創心會内の「良識の府」でありたいと思っています。それは制度や法などに基づいた法令遵守を統制すること、さらに社会や時代の変化に伴い、企業や法人としての在り方、考え方を踏まえ、ルールの見直しや適性にしていく企画提案もしていきます。物事を深く広く見通して、より良い選択ができるようにしたいです。そして職務役割とは別に「困っている人を助ける」「専門を楽しんでやる」気持ちも大切にしたいです。職能団体での役務は業ではありませんが、そういう自分を鍛える絶好の場です。

地域の将来課題を見据えて職能の経験を積む

職能を活かし、社内では、福祉人材養成校からの実習生や外国人労働者の受入れなどを行っています。社外では、研修講師や職能団体の活動で調査・研究や政策提言等にも関わってきました。いずれも大変やりがいがあります。様々な産業で外国人材が定着・定住するようになり、その子どもたちが日本の生活に馴染めるよう、日本語教育の支援要請が私の登録しているボランティア団体にも入ります。社内での経験を活かしてこのような地域の課題にも応えられるよう、今後も自分の職能を磨いていきたいと思っています。



社会福祉士養成校にて将来のソーシャルワーカー育成にも協力している



岡山県国際交流協会との連携で外国人児童の日本語学習サポートを行う



支援本部 内部監査室

私たちは、各サービス事業所の法令遵守の義務の履行を確保するため、業務管理体制の整備やルールを義務付けることにより、指定取消事案などの不正行為を未然に防止するとともに、利用者の保護と事業運営の適正化を図り、創心會グループ事業への信頼を保ちます。

■場所 / 〒710-1101 倉敷市茶屋町2104-1
 ■電話 / 086-420-1500 ■FAX / 086-428-0946
 ■営業 / 8:30 ~ 17:30
 ■休み / 土曜日、日曜日、年末年始(12月31日~1月3日)



ESDエイジーズ
 [SDGs | Sustainable Development Goals] 世界共通の言葉として、2015年9月の国連サミットで加盟国の前回一致で採択された持続可能な開発目標。思想や文化、人種や国を超えて、よりよい未来にしたいための17の目標です。企業や個人、大人や子どもなど、年齢や立場によってできる行動はそれぞれです。まずは、自分ならどうするか。それを一人ひとり考えていきましょう。ここでは、創心會グループのSDGsを体現している人を紹介します。よりよい未来へのつながり、可能性を感じてください。

File no. **07**

@SOUSHINKAI

SDGsな人

「あなたにもできる」と伝えたい!

3
4
5

度々入院していた当時、看護師さんと話すうちに「自分には『障害』という壁はあるけど、自信を持って社会で生きていいんだ」と思えるようになりまし。そう思うと気も紛れたし、いつか私も人を笑顔にできる仕事に就きたいと思うようになりまし。一般就労を目指す私に「社会は厳しい。本当にやっていけるのか」と家族や先生は心配していましたが、連に入社することができました。私と同じような思いを抱える人に「あなたにもできる」と伝えたい。生まれつき障害を抱え、悔しさや後ろ向きな感情が全くないわけではありません。でも、そんな気持ちをもち続けてもきりが。社会に出て、楽しいことや嬉しいことが沢山あると知ることができました。だから私はもつともつと色々なことを見て、触れて、感じて、さらに楽しみます。それが誰かの笑顔に結びつくことにも繋がったらいいな、と考えています。

身近な生活実感から持続可能な社会を想う

7
9
11
12
14

私の自宅には人感センサー式の照明や電動車椅子の充電器、酸素呼吸器等があり、心臓にあるペースメーカーのことも考えながら家族は家電を選びます。酸素呼吸器は「液体酸素」を使用するタイプで、電源が必要ないため災害時にも使用ができます。通勤は車が便利なので、運転してくれる家族の協力にいつも感謝しています。医療はもちろん、生活機器の発展や周りの人々の存在が私の生活の支えです。他にも、私は1日に摂る水分量の制限があるため、ペットボトルを使って摂取量を把握しています。

私の健康管理上、欠かせないペットボトルは、飲み終わると資源として再利用出来ませ。もしペットボトル製品が禁止されたら困ってしまうので、まずは私自身が資源の再利用を意識することが大切だと思っています。また、衣類はスポンの生地を引っ張って下肢を操っているけど、肌が弱いので丈夫だけど摩擦の少ない素材を選んでいきます。下肢もむくみやすいので着圧ソックスも使っています。自分の暮らしに適したものが選べることに感謝し、そういった環境が持続されるよう意識しています。

▼ Koga Miyu



古賀 充容 (こが みゆ) File no.07
 合同会社 連 地域のお役立ち隊「かもし課」勤務
 文書デザイン検定3級 取得

幼少期から心臓病があり、中学生時代に受け心臓手術の検査で脊髄を損傷し、下肢に麻痺を患う。2017年岡山県立早島支援学校 高等部へ入学。在学中に職場体験実習に訪れた創心會グループに関心を持つ。卒業後は合同会社連に入社し「かもし課」に配属、事務員として請求書や見積書の作成、季刊誌やチラシなど広報物作成の他、フリマへの出品から売上管理までを担当。また、社外の講演会や職場説明会で講演等も行っている。

「理解して」ではなく、「知ってください」と言いたい

4
8
10
11
16

合同会社 連のかもし課は、障害者や高齢者、子育てママなど様々な社員がそれぞれの個性や特性を活かして働いています。人には個々に苦手なことや出来ないことがあって当たり前。だけど、過剰に扱われるとストレスで、無関心や無神経になられると困る。そんなジレンマの中で、私たちが「理解してください」「ではなく」「知ってください」と言えたらいいなと私は思います。社会には色々な人がいて、障害があってもこのように働ける。居場所がある。そのことを知ってくれる人が増えるよう発信を続けたい。それが誰かの新たな一歩を照らすことに繋がるような気がしています。今後も自分の経験を通して大学などの授業や講演活動等でも発信していけたらいいなと思っています。

主体変容で人や社会の心を変える

私はまだまだ人生経験が浅いけど、社会の中で障害者に任される仕事内容は少ないと感じています。可能性が見つけられず、やる気が上がらないと言つ人もいます。もつとトライしたい、チャンスがほしいと思つている障害者がいる一方で、健常者や支援者の側からすれば、「どこまで出来るのか分からない以上は任せきれない状況がある」と思っています。そんな中、色々「できる」方法を探して提案していただいている。その背景を想えば、障害者も自らができることを考え、一歩踏み出し、お互いの行動で理解を深められたらと思います。だから私は自分の特性を活かし、障害を武器にしながら、「できる」とは何でもしていきたい。それが連の事業目標とも繋がりが、地域に貢献することだと思えます。



他の出品者を参考に写真や文章を工夫しています。実際に出品した商品が落札されると大きなやり甲斐を感じます。



創心會グループの一員として、自分が発信する価値を探り、人から人へ思いを繋ぎます。

「支える」想いを 支援する 合同会社 連

連ならできるかも、連にシカできないことがある！介護保険サービスなどでは解決することが難しい悩みを、地域ぐるみで支え合い、繋がりを築く社会支援事業を目指し、コミュニティ支援、環境整備や資源ゴミ・不用品の回収、3R(リデュース・リサイクル・リユース)で、地域に貢献します。

■営業所 / 〒710-0013 岡山県倉敷市中帯江98-5
 ■電話 / 080-1903-1337
 ■営業 / 8:30 ~ 17:30
 ■休 日 / 年末年始(12月31日 ~ 1月3日)



SDGs かな人



エイステイジーズ
 【SDGs | Sustainable Development Goals】世界共通の言葉として、2015年9月の国連サミットで加盟国の全会一致で採択された持続可能な開発目標。思想や文化、人種や国を超えて、よりよい未来にいくための17の目標です。企業や個人、大人や子どもなど、年齢や立場によってできる行動はそれぞれです。まずは、自分ならどうするか。それを一人ひとり考えていきましょう。ここでは、創心会グループのSDGsを体現している人を紹介します。よりよい未来へのつながり、可能性を感じてください。

6 12 14 清潔で安全な水を当たり前に使えることに感謝

日課に疲労回復に良いクエン酸を摂れるよう、リンゴ酢を混ぜた水を携帯して小まめな水分摂取をします。私が若い頃は水道が整備されていなかった田舎では、井戸から水をくみ上げるポンプ設備で生活に必要な水を得ていましたので、今

は当たり前に蛇口から清潔で安全な水が飲めることに有難さを感じます。食器洗いの際にはタライに溜めた水で洗うなど、節水をはじめ水を大切な資源の一つとして使う工夫をしています。



▲ Shimooka Masaru

2 3 健康に働き続け、周囲に恩返しを

長年、食の仕事に携わってきたので自炊も買い物も好きです。大豆製品や野菜を1日1回は食べ、好き嫌いせず何でも食べます。これは兄がガンで亡くしてから30年くらい続けている習慣です。弁当会社を退職後、

2年くらいゆっくりしましたが。そのまま老後を通すよりも働ける限り働こうと思えました。健康に働き続けることで周りへの恩返しをしているつもりです。

5 10 16 心を通わす言葉の大切さ

ラジオで「人は9割が話し方次第」と聞き、年齢や性別を問わず、誰でも会話や対話を大切にするようになりました。調理員の頃からご利用者様には声をよくかけていただき、自分を必要とされる気持ちに伝えたいと考えました。日頃から話しやすい雰囲気を保つように、いつも大きな声で挨拶し、相手の価値観や言葉に寄り添い、じっくり聴くようにしています。

File no. 08

下岡 勝 (しもおか まさる)
 創心会リハビリ倶楽部 笹沖 勤務
 機械加工技能検定2級

1958年広島県安芸高田市立高宮中学校を卒業後、水道設備業、鉄工所、自動車計測器の製造所での勤務を経て、倉敷の寿司・仕出し弁当会社の調理兼配送員として40年務める。2014年にデイサービス調理員として創心会に入社。創心会リハビリ倶楽部笹沖に配属。2018年環境整備員に転換し、現在も創心会倉敷地域リハビリケアセンター全体の美化・清掃を担う。今年で満80歳を迎える。

3 4 8 11 16 活躍できる場であり続けるために

私のいる創心会リハビリ倶楽部笹沖では、各々がご利用者様や同僚たちに深い関心をもって接していると感じています。相手のバックグラウンドを知ること、自分との共通点や違いを知り、尊敬する心や親しみの心が援助する姿勢へと繋がっていると思います。一人ひとり年齢や健康状態、得手不得手など、それぞれ違いがあっても、それぞれが頑張れること。そして、役割をもち、必要な存在だと互いを承認し合う気持ちが伝わり合っている事業所です。だからこそ私も、勤務中は任せられた仕事を懸命に取り組み、相手の立場を考え、前向きな言葉を発せられるよう心掛けています。

地域の中で、私たちに何ができるのか

私の年代は人間が蓄えてきた経験や知恵を「ことわざ」という形で教わっていました。最近はやインターネットを使って検索すれば調べられる便利さが勝るかもしれませんが、「人伝いに知ること」との違いはあるのではないのでしょうか。人を介することで、その言葉に込められた「思い」までを伝えられることに価値があるのではないかと考えることがあります。何か嬉しいと感じたときに、その感情について一旦冷静な目を向けると、なぜそのような感情になれたのかを考えると、優しくしようという気持ちになります。次世代を担う方々に、人伝いに話をするので何が伝わり、その人が誰かのために動く、そのきっかけ創りや繋がりを大切にしたいです。



一つひとつの作業のその先を考え、丁寧に取り組む下岡さん。同施設のスタッフから「ぜひ、SDGsな人に」と推薦の声が届きました。

活動・参加型 デイサービス リハビリ倶楽部® 笹沖

当施設は創心会倉敷地域リハビリケアセンターの中にあり、センター内には他にも短時間集中型や認知症対応型など異なるコンセプトのデイサービスや居宅介護支援事業所が併設。介護保険のご相談や生活目標に応じたリハビリケアを提供いたします。近隣には病院や健康福祉プラザ等の公共施設があり、社会参加や就労復帰などの相談連携を図っています。

- 場所 / 〒710-0834 倉敷市笹沖117番地
- 電話 / 086-423-7088 ■ FAX / 086-423-7188
- 営業 / 8:30 ~ 17:30 [サービス提供時間 / 09:30 ~ 16:40]
- 休み / 日曜日、年末年始(12月31日 ~ 1月3日)



SDGs 17 人



ESD | Sustainable Development Goals (SDGs) 世界共通の言葉として、2015年9月の国連サミットで加盟国の前回一致で採択された持続可能な開発目標。思想や文化、人種や国を超えて、よりよい未来にしたいための17の目標です。企業や個人、大人や子どもなど、年齢や立場によってできる行動はそれぞれです。まずは、自分ならどうするか。それを一人ひとりが考えていきましょう。ここでは、創心会グループのSDGsを体現している人を紹介します。よりよい未来へのつながり、可能性を感じてください。

1
2
4
11

貧者の一灯であっても、自分ができていることをする

世界中の子どもたちが、誰一人飢えることなく、平和で安心して暮らせる世界の実現を願い、貧者の一灯でも、真心を込めて困られている人々の力になりたい。また、資源豊かな地球や日本の豊かな文化を次世代にバトンタッチするには、人々の力を結集するべき。善き人が良き環境を保つと考えて、まずは自分ができることを実践していきます。



▲ Kawashima Naomi

7
12

より良い配分で暮らす

他国の紛争もあって、物価やエネルギー料が高騰しています。品物が余って捨てることは勿体ないし、光熱費を使用する家事は深夜料金の間になど、積極的に配分し検討していくことが必要な社会ではないかと思えます。そういう節制を軽んじない意識やいざという時はお互い様と思ひ合える心が、人同士の絆も深めるのではないかと考えています。

3
8

「ありがとう」を達成感やチャレンジ意欲に

主婦をしてきた私にとって、料理は自分も含め皆と飲み合えるコミュニケーションツールのようなもの。ご利用者様が喜ばれるお料理をと腕を振るい、家族や地域の方に手作りお菓子をお配りして、「ありがとう」と言われると達成感を感じます。いつまでも学びたい気持ちがあり、現在はパソコンも勉強中です。町内回覧のお知らせ文の作成や表作成などができるようチャレンジしています。最近では、福祉ネイルにも関心があるので習いたいです。

3
8
11
16

私の訪問介護は、心がけと自己管理の積み重ね

創心会ヘルパーステーション倉敷での私は、管理者やサービスマネージャーの皆さん、そしてご利用者様たちの良き縁に恵まれ働いています。関りある方々と共に責任ある仕事を続けるためには自己管理が重要。体調が悪いと周りに対して笑顔や前向きな気持ちになれないですよね。好きな言葉は「天知る地知る我知る子知る」「一つの言葉で喧嘩して、一つの言葉で仲直り」。自分の行いが他人に与える影響、自分の心にゆとりをもつことが、言葉を自制し周りへの思いやりになる。この仕事での遅刻はゼロ、ご利用者様の介護方法をまとめた自作のカルテも書き続けて、安心・信頼ある訪問介護に努めています。

地域の人々の交流地点、そんな存在を目指して

愛育委員をしていたので、一人の地域住民として創心会のフリーマーケットやバザーなどにも参加させていただきました。イベント時に限らず、地域の人々が創心会リハケアタウンに集まり交流し、ホッと息を付いて、お話しして帰っていくような場所になったらと思っています。高齢者も障害者も、介護サービスの提供時間以外の場で私たちとの関わりが増えることで、人と人が助け合い、感謝や感動、繋がりを強くしていきます。そういった関わりが、より地域包括ケアシステムに繋がると思います。私がお手伝いできることがあれば何でも関わっていきたくです。



20年書き溜めた自作のカルテは、ご利用者様の心創りはもちろん、自分のためにもなったと振り返る川島さん

創心会ヘルパーステーション倉敷

私たちはご利用者様の自宅を訪問して、その方に合わせた生活・人生の回復に、排泄や入浴等身体的な介護や、調理、洗濯、掃除等日常生活に不可欠な支援を行い、自立に向けた生活のサポートをいたします。倉敷市の他、早島町、岡山市へも訪問しています。地域の隣人のような親しみあるケア関係とプロ意識の高い仕事で信頼を得る訪問介護・居宅介護を提供します。

- 場所 / 〒710-1101 倉敷市茶屋町2104-1
- 電話 / 086-420-1500 ■FAX / 086-428-0946
- 営業 / 8:30 ~ 17:30 [訪問介護計画書に応じて、24時間365日のサービス提供]
- 休み / 土・日曜日、年末年始(12月29日~1月3日)





ESD | エステイジーズ
 [SDGs | Sustainable Development Goals] 世界共通の言葉として、2015年9月の国連サミットで加盟国の前回一致で採択された持続可能な開発目標。思想や文化、人種や国を超えて、よりよい未来にしたいための17の目標です。企業や個人、大人や子どもなど、年齢や立場によってできる行動はそれぞれです。まずは、自分ならどうするか。それを一人ひとりが考えていきましょう。ここでは、創心會グループのSDGsを体現している人を紹介します。よりよい未来へのつながり、可能性を感じてください。

File no. **10**

@SOUSHINKAI

SDGs 人

3
4
11
ケアプランは人の未来を考えること

高校生の頃、今まで誰かのお世話になって、支えられてきたことへの恩返しができないかと福祉の道を志しました。在宅でとことんやりたいという思いから、ケアマネジャーを経験。ケアプランはその人の未来を考え、当事者がより良い選択ができて

るように支援するものだと痛感しました。講師となった今も、自分の培った経験を棚卸して人に伝えることで、自己成長も感じながら、受講生の手を通じて誰かの暮らしがより良くなればと考えています。



▲ Sakita Naoki

1
2
食事は誰と食べるかの豊かさも大切に

ただ食料を与える支援ではなく、食事の意味を深め、人の暮らしの豊かさも充たせるような支援が広がればと思います。例えば、子ども食堂のように、同じ釜の飯を食う、ことを通じて、家族や仲間、地域との絆も含めて育む。その豊かさは自分の

心持ちが基準となって実感するものと思います。何を食べるかも大事だし、誰と食べるかの質も私は大切にしたい。その食事での一期一会、その価値に日々感謝しています。

12
14
15
今がある理由を忘れない

休暇はアウトドアでリラックス。自然に身を置いていけると開放感から心が軽くなります。とはいえ、人が入る場所なので、放置ゴミを見つけることもしばしばあります。その場所を気持ちよく使えるのは誰かが何かをしていてくれるから。今の快適がある理由を忘れてはいけない。私と同じく自然を愛する人のためにも、見つけたゴミは少しでも拾って帰るよう回しています。

File no. 10

先田 尚記 (さきた なおき)

株式会社ハートスイッチ 人財共育支援事業部 勤務
 介護福祉士、介護支援専門員(ケアマネジャー)、旅行介助士、国内旅程管理主任者、他

1997年四国大学短期学部を卒業。特別養護老人ホームや通所介護、介護付き有料老人ホームで勤務後、2009年に創心會入社。居宅介護支援センターに配属され、管理者となる。介護福祉士、介護支援専門員の経験を通じて、豊かな介護観をもった指導術を活かし、2016年にハートスイッチの人財共育支援事業部に転籍。介護関連資格取得講座の講師を担当。その他、岡山県介護支援専門員協会の委員として職域を広げ続けている。

3
4
8
10
11
17
その人の代わりは、その人以外
いないのだから。

ハートスイッチ人財共育支援事業部は、「その人のゴールは私たちのゴール」と考え、その人が持っている長所(チカラ)を引き出し、やる気に火を点け、そのゴールに向けた行動を支え、成果を共に達成する姿勢を大切にしています。これは、指導や支援を行う私たちメンバー内でも同様であると考えています。私たちの共通特性は「人の為に考え、動く」ところ。社員のライフイベントも自分のことのように感動し、結婚や出産、介護などがあって、ワークライフバランスの力点が変わる際も、「その人の代わりは、その人以外ない。だから皆で支える。なんとかする」と言える。そのような心理的な安全・安心の輪が、人材の力を発揮するために一番必要なことではないかと考えています。

介護の技術を日本の未来に遺す

介護は肉体的労働の部分以上に、感情豊かな人間とことん支援する「感情労働」です。介護に関わる人々がよい職業人生を送るためにも、その職に就く自らの心が「楽しい」か、快感情であるかを重要視してほしい。私は自身の経験を活かし、感情労働の楽しみ方を伝えたいと思っています。ときには「利用者様が不満や不穏な態度になった場合でも、まずは否定せず受け止め、感情をも統制する高度な介護技術は、日本の財産として未来に遺せるようにしたいです。」



福祉を志す受講生にとって、ハートスイッチがサードプレイスであってほしい

株式会社ハートスイッチ

私たちハートスイッチ「人材共育支援事業部」は、創心會グループの関連法人として、医療・介護業界や地域事業所の発展のために、共育と人材化の環境づくりで貢献します。個のチカラ、心のチカラ、組織のチカラを育て、地域社会の新たな一歩を照らすお手伝いをさせていただきたいと考えています。

- 場所 / 〒710-0038 岡山県倉敷市新田2434-1
- 電話 / 086-420-1600 ■FAX / 086-435-7021
- 営業 / 8:30 ~ 17:30
- 休み / 土・日曜日、年末年始(12月30日~1月3日)





ESD | Sustainable Development Goals
 【SDGs | Sustainable Development Goals】世界共通の言葉として、2015年9月の国連サミットで加盟国の前回一致で採択された持続可能な開発目標。思想や文化、人種や国を超えて、よりよい未来にしていこうための17の目標です。企業や個人、大人や子どもなど、年齢や立場によってできる行動はそれぞれです。まずは、自分ならどうするか。それを一人ひとりが考えていきましょう。ここでは、創心会グループのSDGsを体現している人を紹介します。よりよい未来へのつながり、可能性を感じてください。

@SOUSHINKAI SDGs なる人

3
11

ご利用者様がポジティブになるために

私は幼い頃から少林寺拳法を習い、ごに勝つのが精神を大事にしてきました。病は気からというのが本当にあると思います。ネガティブになると色々よくありません。ご利用者様の気持ちに寄り添う側である私が一緒に落ち込んでいてはダメなので、朝食をしっかり食べる、自分のメンタルを高める、気持ちを落ち着けるための音楽を聴いたりするなど、日頃から心掛けています。そのおかげか、入社以来、体調不良で休んだことは一度もありません。健康を支える看護師として、自分自身も健康で、いつも主体変容できる状態を保てるようにしています。



▲ Okuyama Kayo

1
2
12

より良い分配のサイクルへ 自分にできることを考える

フードロスが多い日本。賞味期限内に経費になり過ぎず、私は食品を扱うとき手前取りを心掛けています。残り野菜などはスープやみそ汁にするなど、ご利用者様からのアドバイスを参考に、大切に使い切る工夫を意識しています。衣類も気に入ったものを長く着たり、古着を必要人へ差し上げるなど、リユースされたりする方がよいと考えられています。

7
11
13

何があってもよいように、備えと点検を徹底

緊急時に備え、防災グッズを自宅に常備し、看護装備を揃えた訪問用バッグも2つ準備しています。医療機器のあるお宅では、停電時が危険です。訪問時にはコンセント接続部やバッテリー量の点検を行い、いざという時には業者に円滑な支援を求めるとともに、サポートダイヤルが書いてある箇所までをご家庭の方に助言します。災害で通常の道が塞がってもご利用者様宅に行けるよう抜けども把握し、看護を提供し続ける責任を果たそうと努めています。

1
3
4
8
10
11
17

異なる環境で力を発揮できてこそ プロフェッショナル

創心会訪問看護リハビリステーション岡山では、看護師やリハビリ専門職が、乳幼児から高齢者まで幅広い方を支援しています。私たちは自立支援から看取り支援まで、ご利用者様の不安や願いに寄り添う仕事です。まだ目的が定まっていなような段階からでも、気軽に相談していただけたらと思っています。例えば、服薬や医療処置に前向きな気持ちになれるよう、その人に合った道具や環境を考案することで、一人ひとりに寄り添ったケアを目指したい。環境の異なる中でも根拠と責任を果たせる準備をし、一軒一軒訪問しています。フットケアにも力を入れており、成果を感じていただけるよう、日々技術向上にも努めています。

心の扉を開くカギを見つけ、未来を創造する

訪問看護は一人ひとりに寄り添えるーそのことをもつと地域に知っていただき、気軽に相談できる事業所にしていきたい。そのためには、仲間にはご利用者様の心の扉を開くカギを見つけ出せる感性を保ってほしいと思っています。自分が訪問していない時間帯、ご利用者様がどのようなお気持ちで生活されているか想像していくことが未来を創造することになる。感情的にならず、主体変容こそが欠かせない仕事であると思うので、私自身も仲間からの相談にいつでも対応できるべきであるし、仲間たちには煩く思われるかもしれないけれど「コミュニケーションの重要性を伝えていきたいです。」



万全の装備で訪問に向かう奥山さん。服薬管理にも細やかな工夫を施している
 地域医療・介護の学会で成果を発表

創心会訪問看護リハビリステーション岡山

私たちの仕事場はご利用者様のお住まいと地域です。より身近な存在であるために、ステーションは岡山市、倉敷市、笠岡市、福山市、高松市で開設。看護やリハビリテーションで心豊かな生活を創造することが使命です。今日もご利用者様第一に安全運転で訪問しています。

- 場所 / 〒704-8173 岡山市東区可知3丁目17-53
- 電話 / 086-944-6605 ■FAX / 086-944-6620
- 営業 / 8:30 ~ 17:30 (提供時間: 24時間 ※夜間はオンコールにて対応)
- 休み / 365日営業(年末年始は訪問日程を調整させていただく場合がございます)

